

第1期末(2017年5月15日)	
基準価額	10,113円
純資産総額	6,628百万円
第1期	
騰落率	1.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。当社ホームページにアクセスし、「ファンド情報」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付を希望される方は、販売会社までお問い合わせください。

ブレンドシックス

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第1期(決算日2017年5月15日)

作成対象期間(2017年3月13日～2017年5月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、ブレンドシックスは、2017年5月15日に第1期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンドを通じて、主として6つの資産(日本国債、ヘッジ付海外債券、高金利海外債券、グローバル高配当株式、グローバルREIT、金)に投資し、インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っています。

ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スカイオーシャン・アセットマネジメント

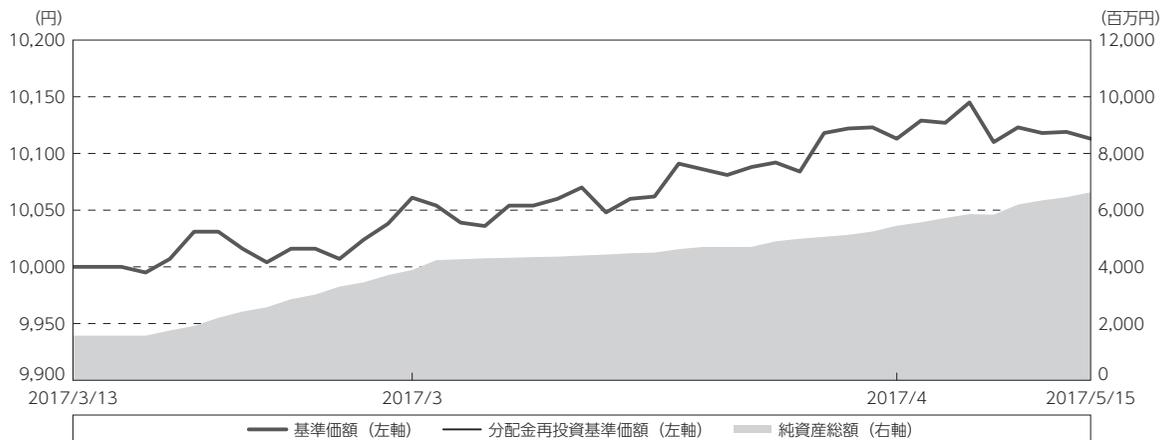
〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<http://www.soam.co.jp/>
サポートデスク：045-225-1651
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年3月13日～2017年5月15日)



設定日：10,000円

期 末：10,113円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行う6つの投資信託証券に投資を行い、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行っています。また、各資産の基準価額への影響度合いが、6資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（ブレンドシックス戦略）を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることを目指しています。期間末における各資産の組入比率および当期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下のとおりです。

投資資産	組入ファンド	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	28.1%	1.2%
ヘッジ付海外債券	高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）	33.8%	1.4%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	9.0%	1.8%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	10.0%	1.5%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	7.8%	1.4%
金	ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）	10.5%	1.2%

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

(注) 騰落率は分配金再投資ベースです。

1万口当たりの費用明細

(2017年3月13日～2017年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	17 円	0.167 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.070)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.089)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.008)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.168	
期中の平均基準価額は、10,087円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年5月15日～2017年5月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2017年3月13日です。

	2017年3月13日 設定日	2017年5月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,113
期間分配金合計(税込み) (円)	—	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.1
純資産総額 (百万円)	1,574	6,628

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年5月15日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2017年3月13日～2017年5月15日)

日本を含む先進国債券市場は上昇しました。2017年3月後半から4月半ばにかけては、トランプ米政権の政策運営に対する不透明感やシリア情勢などの地政学リスクの高まりを受けて上昇傾向となりました。しかしその後は、仏大統領選挙でのマクロン候補勝利への期待感や地政学リスクの後退などを背景に、軟調な展開となりました。一方、新興国債券市場は、2017年3月半ばに米国が利上げを決定した後は、その後の緩やかな利上げ方針が確認されたことやドル相場の軟調な推移を受けて、概ね上昇傾向を示しました。

海外株式市場は上昇しました。2017年3月後半から4月前半にかけては、軟調な展開が続きましたが、4月後半以降は上昇に転じ、その後も米企業の好決算の発表などが好感され、堅調に推移しました。日本株式市場は、2017年3月後半から4月前半にかけては、米利上げ決定後の円高進行に加え、海外株式市場の軟調な展開などを背景に下落歩調となりました。4月後半以降は、円安や世界的な株高を手掛かりに上昇しました。

グローバルREIT市場は上昇しました。2017年3月後半から4月半ばにかけては、世界的に金利が低下したことから、総じて堅調に推移しましたが、その後、株式市場の反発や金利上昇を受け、下落基調となりました。

金市場は上昇しました。米国の利上げ決定後、その後の緩やかな利上げ方針が確認され、金を買う動きが続きしました。2017年5月前半にかけては、安全資産としての金を売る動きが強まり、下落基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2017年3月13日～2017年5月15日)

ブレンドシックス戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることを目指して、毎月末の株式市場、債券市場、REIT市場、金市場のボラティリティ（価格変動性）および相関関係の状況を勘案して配分比率を決定しました。配分比率は、日本国債が28%～29%、ヘッジ付海外債券が34%～37%、他の4資産は概ね7%～11%の範囲で推移しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

分配金

分配方針に基づき、第1期の決算については、収益分配を行わないこととしました。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2017年3月13日～ 2017年5月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	112

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、投資対象先ファンドを通じて、6つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長を目指します。

各資産への配分については、ブレンドシックス戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることを目指して、資産配分を決定する方針です。

なお、将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

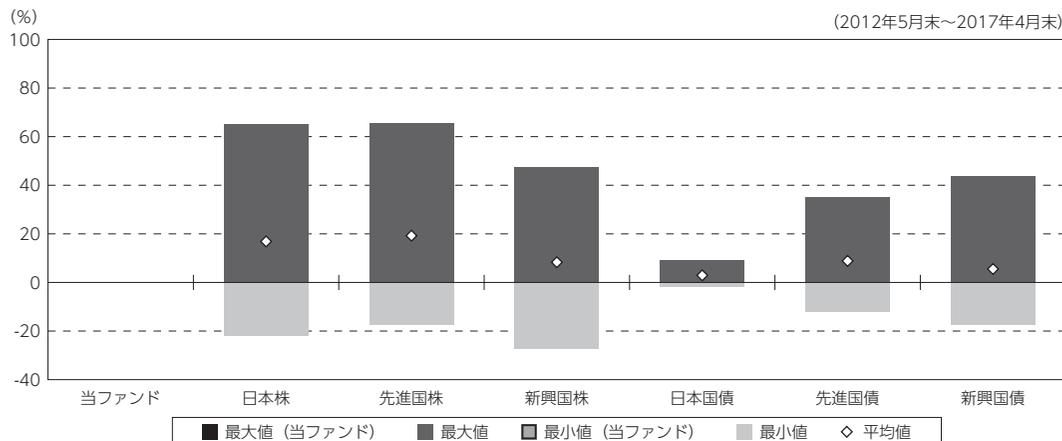
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2017年3月13日から無期限
運用方針	インカム収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券（以下「投資対象ファンド」といいます。）を主要投資対象とします。 日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け） 高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け） 高利回りソブリン債券インデックスファンド グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け） ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）
運用方法	投資対象ファンドを通じて、主として6つの資産（日本国債、ヘッジ付海外債券、高金利海外債券、グローバル高配当株式、グローバルREIT、金）に投資します。 資産配分については、各資産の基準価額への影響度合いが、6資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（ブレンドシックス戦略）を用いて、値動きの影響度が特定の資産に偏らないことを目指します。さらに、資産配分を定期的に見直すことで、基準価額の変動抑制効果を高めるとともに、魅力的な収益の獲得を目指します。
分配方針	毎年5月、11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益分配を目指します。 分配金については、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額とします。 ※ただし、第1期の決算時においては収益分配を行いません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 1.8	△ 12.3	△ 17.4
平均値	-	16.9	19.2	8.3	2.9	8.9	5.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年5月から2017年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載していません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年5月15日現在)

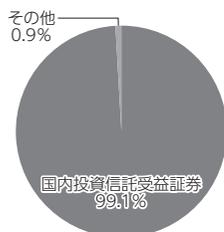
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
高格付先進国ソブリン債券(円ヘッジ)ファンド(適格機関投資家向け)	33.8
日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)	28.1
ゴールド・ファンド(適格機関投資家向け)	10.5
その他	26.7
組入銘柄数	6銘柄

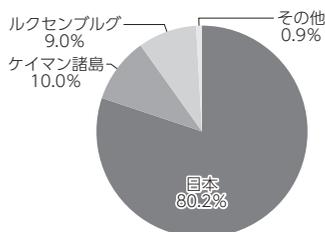
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

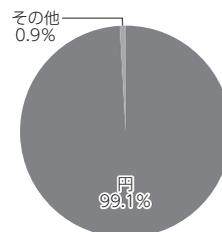
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第1期末
	2017年5月15日
純資産総額	6,628,179,304円
受益権総口数	6,554,132,426口
1万口当たり基準価額	10,113円

(注) 期中における追加設定元本額は4,997,529,607円、同解約元本額は17,692,681円です。

組入上位ファンドの概要

高格付先進国ソブリン債券（円ヘッジ）ファンド（適格機関投資家向け）

現時点で入手し得る直近の決算報告書が存在しないため、掲載しておりません。

日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）

現時点で入手し得る直近の決算報告書が存在しないため、掲載しておりません。

ゴールド・ファンド（適格機関投資家向け）

現時点で入手し得る直近の決算報告書が存在しないため、掲載しておりません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。